



令和4年度 グリーンスローモビリティ情報連絡会 in 名古屋 ～エコな移動を心地よく、グリーンスローモビリティの活躍～

2018年4月に閣議決定された第5次環境基本計画において、「地域循環共生圏」の概念が提唱されました。「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて他地域と資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。

日本では、2020年10月に2050年カーボンニュートラル宣言を行い、先ず2030年度を目途に温室効果ガス2013年度比46%減を達成することを表明しました。一方で、地域が抱える課題は、人口減少、高齢化、行財政の逼迫、地域産業の衰退など、多岐に渡っており、まさしく“経済”“社会”“環境”の統合的向上をめざす地域循環共生圏の構築が重要となっています。そこでいま、地域課題と世界的共通課題である気候変動対策を同時解決して地域の活力を高めていく有効な手段の一つとして“グリーンスローモビリティ”に注目が集まっています。

そこで、「グリーンスローモビリティ」の普及、導入促進に向けて、理解を深めていただくための情報連絡会を開催いたします。

1. 日 時 令和4年10月4日（火）
 講演会 ; 13:00 ~ 15:10（受付開始12:00～）
 サプライヤー交流会 ; 12:00 ~ 16:00
 試乗会 ; 15:30 ~ 17:10（受付開始12:00～）
2. 場 所 名古屋国際会議場 イベントホール（名古屋市熱田区熱田西町1番1号）
3. 講演会 定 員 150名程度（参加無料）
 ※ 会場はコロナ対策として同時収容可能人数を50%以下とさせていただきます。

《プログラム》

- (1) 開会挨拶
- (2) 政策紹介①
 国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課 課長補佐 粟井勇貴 氏
- (3) 政策紹介②
 環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室 室長補佐 名畑太智 氏
- (4) 講演Ⅰ 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団交通環境対策部 調査役 岩原 徹 氏
 ※ 地域のコミュニティ装置ともいえるグリーンスローモビリティの可能性についてご講演頂きます。
 講演Ⅱ 千葉県松戸市福祉長寿部 参事監 中沢 豊 氏
 ※ 主役は地域。住民がソーシャル・キャピタルと協力し、グリーンスローモビリティを活用して地域づくりが実現できるように市がサポートする取組みについてご講演頂きます。
 講演Ⅲ 本四バス開発株式会社 代表取締役 山根哲士 氏
 ※ 広島県尾道市瀬戸田（生口島）で実施した「環境省IoT 技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業」での様々な取組みと、地域との関わり等についてご紹介頂きます。
- (5) 閉会挨拶



4. サプライヤー交流会

- 令和4年度グリーンスローモビリティ導入促進事業において認定を受けたグリーンスローモビリティ車両のうち複数台を講演会会場にて展示します。
- 参加は無料です。講演会参加者の方は自由にご覧いただけます。
- 車両展示スペースには、グリーンスローモビリティのサプライヤー（車両及び製造・販売等を通じて提供する事業者）も同席しています。ぜひ、直接お話しいただき、グリーンスローモビリティの理解促進の場としてご活用ください。

5. 試乗会

- 講演会会場である名古屋国際会議場周辺にて、グリーンスローモビリティの試乗会を開催します。定員は最大100名です。
- 試乗会は講習会終了後の15:30から開始し、10グループに分かれて順番にご乗車いただきます。1グループあたり10分程度を予定しています。
- 1グループあたりの定員は10名（最大5名/台×2台）です。
- 試乗希望者は、当日、講習会会場にて12:00から予約を承ります。予約の際に、試乗人数と希望時間を受付係にお伝えください。なお、試乗会への参加お申し込みは先着順となりますのでご了承ください。

6. 参加申込方法

講演会参加ご希望の際は、別添の申込書に必要事項を記入の上、電子メールまたはFAXにて、下記事務局までお申し込みください。

※ 試乗会への参加は、講演会場（現地）で直接お申込を承ります。

【申込締切】 2022年9月30日（金）まで

※ 定員になり次第、受付を終了させていただきます。

【事務局（申込先）】

復建調査設計株式会社 社会デザイン創発センター（担当；川上・宇山）

Fax：082-506-1827 / TEL：050-9002-1726

E-mail：gsm_env2022@fukken.co.jp



令和4年度 グリーンスローモビリティ情報連絡会 in 仙台 ～エコな移動を心地よく、グリーンスローモビリティの活躍～

2018年4月に閣議決定された第5次環境基本計画において、「地域循環共生圏」の概念が提唱されました。「地域循環共生圏」とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて他地域と資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。

日本では、2020年10月に2050年カーボンニュートラル宣言を行い、先ず2030年度を目標に温室効果ガス2013年度比46%減を達成することを表明しました。一方で、地域が抱える課題は、人口減少、高齢化、行財政の逼迫、地域産業の衰退など、多岐に渡っており、まさしく“経済”“社会”“環境”の統合的向上をめざす地域循環共生圏の構築が重要となっています。そこでいま、地域課題と世界的共通課題である気候変動対策を同時解決して地域の活力を高めていく有効な手段の一つとして“グリーンスローモビリティ”に注目が集まっています。

そこで、「グリーンスローモビリティ」の普及、導入促進に向けて、理解を深めていただくための情報連絡会を開催いたします。

1. 日 時 令和4年10月11日（火）
 講演会 ; 13:00 ~ 15:10（受付開始 12:00～）
 サプライヤー交流会 ; 12:00 ~ 16:00
 試乗会 ; 15:30 ~ 17:10（受付開始 12:00～）
2. 場 所 夢メッセみやぎ 西館展示場 （宮城県仙台市宮城野区港3丁目1-7）
3. 講演会 定 員 140名程度（参加無料）
 ※ 会場はコロナ対策として同時収容可能人数を50%以下とさせていただきます。

《プログラム》

- (1) 開会挨拶
- (2) 政策紹介①
 国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課 課長補佐 粟井勇貴 氏
- (3) 政策紹介②
 環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室 室長補佐 名畑太智 氏
- (4) 講演Ⅰ 大分大学経済学部門 教授 大井尚司 氏
 ※ 地域を創り、地域を育てる、グリーンスローモビリティの可能性についてご講演頂きます。
 講演Ⅱ 株式会社モビリティワークス 代表取締役 西 利也 氏
 ※ 全国初のグリーンスローモビリティによる自家用有償旅客運送の本格事業となった東京都町田市鶴川団地の事例を中心に、各地でのグリスロの活躍についてご紹介いただきます。
 講演Ⅲ いわき市総合政策部 参事 兼スマート社会推進課 課長 松本雄二郎 氏
 ※ 福島県いわき市で過年度実施した「環境省 IoT 技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業」での様々な取組みと、その後の実装に向けた展開についてご紹介頂きます。
- (5) 閉会挨拶



4. サプライヤー交流会

- 令和4年度グリーンスローモビリティ導入促進事業において認定を受けたグリーンスローモビリティ車両のうち複数台を講演会会場にて展示します。
- 参加は無料です。講演会参加者の方は自由にご覧いただけます。
- 車両展示スペースには、グリーンスローモビリティのサプライヤー（車両及び製造・販売等を通じて提供する事業者）も同席しています。ぜひ、直接お話しいただき、グリーンスローモビリティの理解促進の場としてご活用ください。

5. 試乗会

- 講演会会場である夢メッセみやぎ周辺にて、グリーンスローモビリティの試乗会を開催します。定員は最大100名です。
- 試乗会は講習会終了後の15:30から開始し、10グループに分かれて順番にご乗車いただきます。1グループあたり10分程度を予定しています。
- 1グループあたりの定員は10名（最大5名/台×2台）です。
- 試乗希望者は、当日、講習会会場にて12:00から予約を承ります。予約の際に、試乗人数と希望時間を受付係にお伝えください。なお、試乗会への参加お申し込みは先着順となりますのでご了承ください。

6. 参加申込方法

講演会参加ご希望の際は、別添の申込書に必要事項を記入の上、電子メールまたはFAXにて、下記事務局までお申し込みください。

※ 試乗会への参加は、講演会場（現地）で直接お申込を承ります。

【申込締切】 2022年10月7日（金）まで

※ 定員になり次第、受付を終了させていただきます。

【事務局（申込先）】

復建調査設計株式会社 社会デザイン創発センター（担当；川上・宇山）

Fax：082-506-1827 / TEL：050-9002-1726

E-mail：gsm_env2022@fukken.co.jp